



研修初日(10.11)

①
まもなく研修がスタートします。
今回は、都県、市町村、森林組合
の職員の方を対象に実施します。



②
初日の講義を担当する関東森林
管理局の澤井講師から挨拶の後、
研修がスタートしました。



③
「新たな路網の整備について」の講
義です。
森林整備には路網の整備が必要
不可欠です。



④
講義の後はグループ演習です。班
に分かれて作業をします。



⑤
図面を読み取り既路線の改善点
等について検討します。



⑥
明日の現地確認でどこがポイント
となるのか話し合います。



研修2日目(10.12)

①
2日目は現地研修です。午前中は
昨日図面で検討した路線の現地
確認を行います。
最初に鎌滝講師(株式会社 森林
テクニクス)から演習における留意
点等について説明を受けます。



②
班に分かれて現地を踏査し、質問
等に答えられるよう講師も同行しま
す。



③
机上で問題となった箇所をチェッ
クします。



④
路線終点です。
班毎に始点から終点まで踏査した
結果を整理します。



⑤
帰路は全員でポイントとなる箇所を見て帰ります。研修生の質問には講師が答えません。



⑥
実際に現地を確認することで改良点等が見えてきます。



⑦
設計上、重要なポイントについては講師が逐次説明します。



⑧
午後からは別の現場に移動です。



⑨
コンクリート土嚢を用いた工法。初めて目にした方も多そうです。



⑩
法高、勾配、線形等についてより改善すべきことがなかったのか、検討します。



⑪
ポイント毎に講師から改良点等について説明をします。



⑫
現場から戻り、現地を調査して分かった改善点等を明日発表する内容に反映させるため話し合います。

研修最終日(10.13)



①
あっという間に研修最終日となりました。昨日の現地調査結果を反映し、各班発表します。



②
いよいよ発表です。当初、図面でのように考え、現地を見てどのように改善したか等について、発表します。



③
どのような理由でこのような線形になったのか等、考え方を共有します。



④
班によって様々な意見、考え方が出てきます。



⑤
発表後は講師から総評を行い、質疑応答です。数多くの質問が出ます。



⑥
質問に答えるべく鎌滝講師による設計のポイントについて説明を行いました。



⑦
いよいよ最後の講義です。路網設計上の留意点等についてのまとめです。



⑧
研修を通しての質疑応答です。質問にはできる限りその場で返答し、確認が必要な質問は後日メール等で回答します。



⑨
最後に記念写真です。